

総合戦略の重要業績指標(KPI)検証について

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）においては重要業績指標(KPI)を設定しており、これを「外部有識者等を含めた検証体制を設けて成果の進捗を検証する」としている。

＜参考＞府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略 抄

0. 基本的な考え方

(4) 進捗の検証

総合戦略では、その達成度合いを検証できるよう客観性のある基本目標と重要業績評価指標（KPI:Key Performance Indicator の略）を設定し、外部有識者等を含めた検証体制を設けて成果の進捗を検証することとし、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととします。

重要業績指標(KPI)は年度単位で集計されるものが多く含まれるため、毎年度終了後、一定の期間で計測・集計等作業を行ってから検証することとなる。

検証にあたっては、「府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議」から上之園委員（比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科教授）、岡嶋委員（株式会社広島銀行安芸府中支店長）の2名に対して府中町役場から毎年度検証結果を報告し、検証結果をまとめることとする。2委員への報告の結果、総合戦略を改定することを含めて議論が必要と判断された場合には、委員全員による有識者会議を開催することとなる。